

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進			
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 佐々木(秀) 818-3441						
全 体 計 画							
事業内容	道路の舗装や建物の面積が増え、雨水のほとんどが地面にしみ込まず、下水道管に流れ込み、浸水が起こりやすい状況となっている。 このため、浸水の防除及び水とみどりのうおいのあるまちづくりを目指し、市民、企業、行政の協働により、地域全体で雨水を適切に地中へしみ込ませる取り組みを進める。			<年度別の事業内容>			
				19年度 他都市事例調査 雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握 20年度 新たな開発における雨水流出抑制量の設定 雨水流出抑制の技術基準(案)策定 21年度 雨水流出抑制の制度内容の検討 22年度 雨水流出抑制に関する要綱、技術基準の策定			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	○他都市事例調査 ・他都市事例の比較検討 ○雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握 ・下水道パネル展による情報提供 ・下水道モニター制度による情報提供と意向把握			○新たな開発における雨水流出抑制量の設定 ○雨水流出抑制技術基準(案)策定 本市のこれまでの雨水対策や浸水実績を踏まえ、雨水流出抑制の手法の検討や、新たな開発における雨水流出抑制量の設定を行い、技術基準(案)を策定する。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
雨水流出抑制に関する要綱等の策定		-	他都市事例調査	技術基準(案)策定	制度内容の検討	要綱等策定	要綱等策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 下水道事業のパンフレットの配布、下水道パネル展などにより下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、協働による雨水浸透についても公表している。また、下水道モニター制度により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。							
■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]							
■市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進		
評価(成果)				課題		
○他都市事例調査 他都市の事例を比較検討することにより、課題の整理など今後検討を進める上での参考とすることができた。 ○雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握 下水道パネル展や下水道モニター制度を活用した情報提供により、雨水流出抑制についての啓発を行った。下水道モニターの出席者に対するアンケート結果では、雨水流出抑制に対して多くの理解が得られ、意識の醸成を図ることができた。 下水道モニターのアンケート結果 大規模開発による雨水流出量増加への対応について ・行政が税金で下水道を増強すべきである 6% ・開発者が雨水の流出を抑制すべきである 88%				他都市の事例では、雨水流出抑制量の設定方法については、土地利用により雨水の流出の係数を設定するもの、開発面積により一定の雨水流出抑制量を設定するものなどがあり、本市にとって望ましい雨水流出抑制量の設定方法を、検討する必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
雨水流出抑制量の設定方法については、他都市の事例も参考に、本市のこれまでの雨水対策や浸水実績、雨水流出抑制の普及促進などの観点から検討を進める。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債					
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						